



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

宇城農地整備事業

亀松工区ゲート設備実施設計業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
宇城農地整備事業所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

業務別業務名: 亀松工区ゲート設備実施設計業務

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	宇城農地整備事業					
業務名	亀松工区ゲート設備実施設計業務					
業務別業務名:亀松工区ゲート設備実施設計業務						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S02115	主任技師					
	主任技師		人	64,800		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S02115	技師 (A)					
	技師 (A)		人	57,000		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S02115	技師 (C)					
	技師 (C)		人	38,400		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S02115	技術員					
	技術員		人	33,600		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S60021	実施設計 射流分水工・チェックゲート					
	実施設計 射流分水工・チェックゲート 2箇所, Q<2m3/s, なし		式	1,806,748		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S60021	実施設計 射流分水工・チェックゲート					
	実施設計 射流分水工・チェックゲート 1箇所, 2≦Q<10m3/s, なし		式	1,421,840		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S63003	実施設計施設機械 (直接人件費内業)					
	設計労務(直接人件費内業)		式	3,182,140		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S63007	実施設計施設機械 (直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	240,300		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.14日		回	77,952		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.14日		回	66,688		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 2.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.14日		回	119,424		歩A・単A
	*** S単ー 12号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)					
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 1時間, L<100km (100km未満)		回	3,089		歩A・単A
	*** S単ー 13号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)					
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 中間, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 1時間, L<100km (100km未満)		回	3,089		歩A・単A
	*** S単ー 14号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)					
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 1時間, L<100km (100km未満)		回	3,089		歩A・単A
	*** S単ー 15号 ***					
S63018	旅費交通費 (設計外業日雇用)					
	旅費交通費 (設計外業日雇用) ライトバン, 2日, 1時間		式	6,178		歩A・単A
	*** S単ー 16号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 1, A-4, 1000, 10cm, 0		式	13,489		歩A・単A
	*** T単ー 1号 ***					
T00001	公開用成果物の作成					
			式	16,833		歩A・単A
	*** T単ー 2号 ***					
T00002	現地調査 (設計業務基準日額)					
			日	320,400		歩A・単A

事業名	宇城農地整備事業
業務名	亀松工区ゲート設備実施設計業務

業務別業務名: 亀松工区ゲート設備実施設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S02115	主任技師		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
	合 計				64,800	算出数量 1.000 人
	単 価				64,800	
	*** S単- 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1.000 人
	単 価				57,000	
	*** S単- 3号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04006	技師 (C)	1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				38,400	算出数量 1.000 人
	単 価				38,400	
	*** S単- 4号 ***					
S02115	技術員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				33,600	算出数量 1.000 人
	単 価				33,600	
	*** S単- 5号 ***					
S60021	実施設計 射流分水工・チェックゲート		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	実施設計 射流分水工・チェックゲート 2箇所, Q<2m3/s, なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計対象箇所数 2) 流量区分	2箇所 Q<2m3/s		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 水路本体設計の有無 4) 1. 現地調査	なし 計上しない		深夜時間: 0.0		
	5) 2. 資料の検討	計上しない				
	6) 3-1. 設計計画基本条件の検討	計上する				
	7) 3-2. 設計計画規模構造の検討	計上する				
	8) 4. 水理計算	計上しない				

事業名	宇城農地整備事業
業務名	亀松工区ゲート設備実施設計業務

業務別業務名: 亀松工区ゲート設備実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	9)5-1. 構造検討構造計算	計上する				
	10)5-2. 構造検討構造図作成	計上する				
	11)6. 土工図作成	計上する				
	12)7. 数量計算	計上する				
	13)8. 施工計画	計上する				
	14)9. 概算工事費積算	計上する				
	15)10. 総合検討	計上する				
	16)11. 点検取りまとめ	計上する				
	17)1個別補正現地調査	1.00				
	18)2個別補正資料の検討	1.00				
	19)3-1個別補正基本条件の検討	1.00				
	20)3-2個別補正規模構造の検討	1.00				
	21)4個別補正水理計算	1.00				
	22)5-1個別補正構造計算	1.00				
	23)5-2個別補正構造図作成	1.00				
	24)6個別補正土工図作成	1.00				
	25)7個別補正数量計算	1.00				
	26)8個別補正施工計画	1.00				
	27)9個別補正概算工事費積算	1.00				
	28)10個別補正総合検討	1.00				
	29)11個別補正点検取りまとめ	1.00				
R04003	主任技師 内業	7.160	人	64,800	463,968	
R04004	技師 (A) 内業	7.860	人	57,000	448,020	
R04005	技師 (B) 内業	10.870	人	47,200	513,064	
R04006	技師 (C) 内業	4.620	人	38,400	177,408	
R04007	技術員 内業	6.080	人	33,600	204,288	
	合 計				1,806,748	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,806,748	
	*** S単- 6号 ***					
S60021	実施設計 射流分水工・チェックゲート		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	実施設計 射流分水工・チェックゲート 1箇所, $2 \leq Q < 10\text{m}^3/\text{s}$, なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計対象箇所数	1箇所				
	2) 流量区分	$2 \leq Q < 10\text{m}^3/\text{s}$				
	3) 水路本体設計の有無	なし				
	4) 1. 現地調査	計上しない				
	5) 2. 資料の検討	計上しない				
	6) 3-1. 設計計画基本条件の検討	計上する				
	7) 3-2. 設計計画規模構造の検討	計上する				
	8) 4. 水理計算	計上しない				
	9) 5-1. 構造検討構造計算	計上する				
	10) 5-2. 構造検討構造図作成	計上する				
	11) 6. 土工図作成	計上する				
	12) 7. 数量計算	計上する				
	13) 8. 施工計画	計上する				
	14) 9. 概算工事費積算	計上する				
	15) 10. 総合検討	計上する				
	16) 11. 点検取りまとめ	計上する				
	17) 1個別補正現地調査	1.00				
	18) 2個別補正資料の検討	1.00				
	19) 3-1個別補正基本条件の検討	1.00				
	20) 3-2個別補正規模構造の検討	1.00				
	21) 4個別補正水理計算	1.00				
	22) 5-1個別補正構造計算	1.00				
	23) 5-2個別補正構造図作成	1.00				
	24) 6個別補正土工図作成	1.00				
	25) 7個別補正数量計算	1.00				
	26) 8個別補正施工計画	1.00				
	27) 9個別補正概算工事費積算	1.00				
	28) 10個別補正総合検討	1.00				
	29) 11個別補正点検取りまとめ	1.00				
R04003	主任技師 内業	5.200	人	64,800	336,960	
R04004	技師 (A) 内業	7.200	人	57,000	410,400	
R04005	技師 (B) 内業	7.100	人	47,200	335,120	
R04006	技師 (C) 内業	4.200	人	38,400	161,280	
R04007	技術員 内業	5.300	人	33,600	178,080	
	合 計				1,421,840	算出数量 1.000 式

事業名	宇城農地整備事業					
業務名	亀松工区ゲート設備実施設計業務					
業務別業務名: 亀松工区ゲート設備実施設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		1,421,840	
	*** S単- 7号 ***					
S63003	実施設計施設機械（直接人件費内業） 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.60人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	4.50人 9.70人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	16.60人 21.70人				
	7)技術員の人数	20.10人				
R04002	技師長					
		0.600	人	75,800	45,480	
R04003	主任技師					
		4.500	人	64,800	291,600	
R04004	技師（A）					
		9.700	人	57,000	552,900	
R04005	技師（B）					
		16.600	人	47,200	783,520	
R04006	技師（C）					
		21.700	人	38,400	833,280	
R04007	技術員					
		20.100	人	33,600	675,360	
	合 計				3,182,140	算出数量 1,000 式
	単 価		式		3,182,140	
	*** S単- 8号 ***					
S63007	実施設計施設機械（直接人件費外業） 設計労務(直接人件費外業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.50人 1.50人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.00人 1.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業					
		1.500	人	64,800	97,200	
R04004	技師（A） 外業					
		1.500	人	57,000	85,500	
R04006	技師（C） 外業					
		1.500	人	38,400	57,600	
	合 計				240,300	算出数量 1,000 式
	単 価		式		240,300	
	*** S単- 9号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額） 打合せ（設計業務基準日額） 一般工種、着手前・最終、1.00人、1.00人、0.00人、0.00人、0.5日、0.14日		回		1,000 回	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人				
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.140日				
R04003	主任技師					
		0.640	人	64,800	41,472	
R04004	技師（A）					
		0.640	人	57,000	36,480	
	合 計				77,952	算出数量 1,000 回
	単 価		回		77,952	

事業名	宇城農地整備事業
業務名	亀松工区ゲート設備実施設計業務

業務別業務名: 亀松工区ゲート設備実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 10号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.14日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種 2) 打合せ	一般工種 中間		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	1.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.140日				
R04004	技師 (A)	0.640	人	57,000	36,480	
R04005	技師 (B)	0.640	人	47,200	30,208	
	合 計				66,688	算出数量 1,000 回
	単 価		回		66,688	
	*** S単一 11号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 着事前・最終, 2.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.14日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	日			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種 2) 打合せ	一般工種 着事前・最終		深夜時間: 0.0		
	3) 設計用主任技師人数	2.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.140日				
R04003	主任技師	1.280	人	64,800	82,944	
R04004	技師 (A)	0.640	人	57,000	36,480	
	合 計				119,424	算出数量 1,000 回
	単 価		回		119,424	
	*** S単一 12号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 着事前・最終, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 1時間, L<100km (100km未満)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種 2) 打合せ内容	一般工種 着事前・最終		深夜時間: 0.0		
	3) 主任技師配置人員	1人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	0人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.14日				
	9) 宿泊区分 12) 交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	1,218円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	1日				
	19) 時間区分 20) 往復移動距離区分	1時間 L<100km (100km未満)				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	1,218	1,218	
M28121	ライトバン [カマシエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,450	1,450	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2,700	L	156	421	
	合 計				3,089	算出数量 1,000 回

事業名	宇城農地整備事業
業務名	亀松工区ゲート設備実施設計業務

業務別業務名: 亀松工区ゲート設備実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		回		3,089	
	*** S単ー 13号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種, 中間, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 1時間, L<100km (100km未満)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	1人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.14日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	ライトバン				
	13) 高速道路往復料金（税別）	1,218円				
	14) 鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	15) バス往復1人当料金（税別）	0円				
	16) 船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	17) 航空往復1人当料金（税別）	0円				
	18) ライトバン使用日数	1日				
	19) 時間区分	1時間				
	20) 往復移動距離区分	L<100km (100km未満)				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	1,218	1,218	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,450	1,450	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2,700	L	156	421	
	合 計				3,089	算出数量 1,000 回
	単 価		回		3,089	
	*** S単ー 14号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 1時間, L<100km (100km未満)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ内容	着手前・最終				
	3) 主任技師配置人員	2人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	0人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.14日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	ライトバン				
	13) 高速道路往復料金（税別）	1,218円				
	14) 鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	15) バス往復1人当料金（税別）	0円				
	16) 船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	17) 航空往復1人当料金（税別）	0円				
	18) ライトバン使用日数	1日				
	19) 時間区分	1時間				
	20) 往復移動距離区分	L<100km (100km未満)				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	1,218	1,218	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,450	1,450	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2,700	L	156	421	
	合 計				3,089	算出数量 1,000 回
	単 価		回		3,089	
	*** S単ー 15号 ***					
S63018	旅費交通費（設計外業日雇用）		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業日雇用） ライトバン, 2日, 1時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	

[illegible]

[illegible]

令和6年度 宇城農地整備事業

かめまつ

亀松工区ゲート設備実施設計業務

特 別 仕 様 書

九州農政局

宇城農地整備事業所

第1章 総則

第1-1条（適用範囲）

令和6年度 宇城農地整備事業 亀松工区ゲート設備実施設計業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条（目的）

この業務は、国営宇城土地改良事業計画に基づき、整備計画を検討するため、亀松工区のゲート設備の実施設計を行うものである。

第1-3条（場所）

この業務において対象とする位置は、熊本県宇城市不知火町亀松地内で別添位置図に示すとおりである。

第1-4条（低入札価格契約における第三者照査）

- 1 予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書第1-7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。
- 2 第三者照査の企業に要求される資格
 - （1）予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
 - （2）九州農政局において、令和5・6年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。
 - （3）九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
 - （4）共通仕様書第1-30条守秘義務を遵守できるものであること。
 - （5）中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
 - ①資本関係
 - （ア）親会社と子会社の関係にある
 - （イ）親会社を同じくする子会社同士の関係にある
 - ②人的関係
 - （ア）一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている
- 3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

 - （1）照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
 - （2）照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第 4-1 条業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者の AGRIS 登録

共通仕様書第 1-12 条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第 41 条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

第 1－5 条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注に当たり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- 1 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- 2 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- 3 その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- 4 業務成果品のミス、不備 等

第 1－6 条（一般事項等）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1 作業に伴う立木伐採等については、事前に監督職員と打合せを行い承諾を得るとともに、所有者の承諾を得た後行うものとする。また、伐採は必要最小限にとどめるとともに、伐採した有価木は付近に整理し、みだりに第三者に被害を与え、トラブルの生じることのないよう留意するものとする。
なお、発注者の許可なく土地の踏み荒らし、立木の伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。
- 2 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

第 1－7 条（管理技術者）

管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	機械－機械設計 建設－鋼構造及びコンクリート 農業－農業土木 農業－農業農村工学
	機械	機械設計等
	建設	鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティングマネージャー	鋼構造及びコンクリート 機械	
	農業土木	

農業土木技術管理士、技術士（農業－農業土木）、技術士（農業－農業農村工学）及びシビルコンサルティングマネージャー（農業土木）については、ゲート設備を含む施設の設計の実務経験を有することを記載した経歴書を監督職員に提出するものとする。

第 1－8 条（照査技術者）

- 1 照査技術者は、共通仕様書第 1-7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	機械－機械設計 建設－鋼構造及びコンクリート 農業－農業土木 農業－農業農村工学
	機械	機械設計等
	建設	鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティングマネージャー	鋼構造及びコンクリート 機械	
	農業土木	

農業土木技術管理士、技術士（農業－農業土木）、技術士（農業－農業農村工学）及びシビルコンサルティングマネージャー（農業土木）については、ゲート設備を含む施設の設計の実務経験を有することを記載した経歴書を監督職員に提出するものとする。

2 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書(案)」(以下「照査手引書」という。)に基づき実施する。

また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、共通仕様書第 1-7 条第 5 項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

3 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第 1－9 条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

第 1－10 条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

1 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

2 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第 1－11 条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

第 2－1 条（適用する図書）

設計の基本的事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定（改訂）年月
1	土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「水路工」	（公社）農業農村工学会	平成 26 年 3 月
2	鋼構造物計画設計技術指針（水門扉編）	（一社）農業土木事業協会	平成 21 年 3 月
3	電気設備計画設計技術指針（高低圧編）	（一社）農業土木機械化協会	令和元年 9 月

第 2－2 条 （設計基本条件）

設計作業における設計基本条件は、次のとおり想定している。

項 目	規格・寸法
(1) 設計基本条件 1 号制水ゲート	計画排水量 Q=0.400m ³ /s

1) 形式 2) 数量 3) 純径間 4) 扉高 5) 開閉方式 6) 操作方式	ヒンジ形式（電動ワイヤ式自動転倒ゲート） 1 門 2.5m 1.0m ワイヤロープウインチ式 機側操作
2号制水ゲート 1) 形式 2) 数量 3) 純径間 4) 扉高 5) 開閉方式 6) 操作方式	計画排水量 $Q=0.330\text{m}^3/\text{s}$ ヒンジ形式（電動ワイヤ式自動転倒ゲート） 1 門 1.0m 1.0m ワイヤロープウインチ式 機側操作
4号制水ゲート 1) 形式 2) 数量 3) 純径間 4) 扉高 5) 開閉方式 6) 操作方式	計画排水量 $Q=4.358\text{m}^3/\text{s}$ ヒンジ形式（電動ワイヤ式自動転倒ゲート） 1 門 4.0m 1.0m ワイヤロープウインチ式 機側操作

第2－3条（貸与資料等）

貸与資料は下記のとおりである。

分 類	貸 与 資 料	数 量
設計関係 資料	令和元年度 地区調査宇城地区 事業計画書（案）取りまとめ業務 報告書	一式
	令和元年度 地区調査宇城地区 水収支計算補足検討業務 報告書	一式
	令和3年度 宇城農地整備事業 亀松工区区画整理検討業務 報告書	一式
	令和4年度 宇城農地整備事業 亀松工区区画整理実施設計（その1）業務 報告書	一式
	令和4年度 宇城農地整備事業 亀松工区区画整理実施設計（その2）業務 報告書	一式
	国営緊急農地再編事業宇城地区 環境配慮計画（令和元年6月）	一式
その他	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	一式

第2－4条（貸与資料の取扱い）

第2-3条に示す貸与資料の取扱いは下記のとおりとする。

- 貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 貸与資料は原則として、初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における設計作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細な作業項目、作業内容は、別紙1-1、1-2【設計作業項目内訳表】に○印で示すものとする。

1 設計作業

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 水門設備 実施設計（土木構造物）	1 式	（設計対象） 1 号制水ゲート（ $Q < 2\text{m}^3/\text{s}$ ） 2 号制水ゲート（ $Q < 2\text{m}^3/\text{s}$ ） 4 号制水ゲート（ $2 \leq Q < 10\text{m}^3/\text{s}$ ）
2. 水門設備 実施設計（施設機械）	1 式	（設計対象） 1 号制水ゲート 2 号制水ゲート 4 号制水ゲート

第3-2条（設計作業の留意点）

1 現地作業の留意点

現地作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりである。

- （1）作業実施の順序・方法は、監督職員と綿密な連絡を取り作業の円滑な進捗を図る。
- （2）作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- （3）現地調査に当たっては、言動等に十分注意を払い、住民等から無用の不審を招かないよう十分注意する。
- （4）作業実施のための土地立入り等に当たっては、監督職員と連絡を取った後でなければ作業に着手してはならない。
- （5）作業遂行上、狭隘な道路が多いため、道路からの転落や路肩の損傷等に十分注意する。

2 設計の留意点

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- （1）設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- （2）電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- （3）第2-3条に示す貸与資料、共通仕様書に示す参考図書及び受注者が有する資料を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- （4）施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- （5）当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関して新技術や新工法等の選定に当たっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。

- ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
- ・新技術情報システム（NETIS）は
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。

（６）施設機械の数量計算に当たっては、施設機械工事等数量算出要領（案）に基づき行うものとし、土木構造物の数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。

なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

- ・「工事工種の体系化」は
https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/を参照。

（７）新農林水産省木材利用推進計画（平成 22 年 12 月）において、柵工、残存型柵、標識工、視線誘導標等は木製の割合 100%を目標としており、柵工、残存型柵、標識工、視線誘導標等の設計においてはこれに留意するものとする。

第 3－3 条（業務の成果品質確保対策）

契約後業務着手時並びに最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに「業務の成果品質確保対策」（農林水産省 WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

1 業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事業所長、監督職員及び関係する担当者が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

（１）業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については変更する場合がある。

- ①設計条件・前提条件
- ②業務計画の妥当性
- ③スケジュール
- ④設計変更内容
- ⑤その他：資材選定チェック、コスト縮減、環境対策等の促進等

（２）会議の開催については、監督職員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督職員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

2 合同現地踏査

管理技術者・担当技術者並びに事業所長、監督職員及び関係する担当者が、必要に応じて合同で現地踏査を行うことにより、設計条件や施工の留意点、関連事業の情報、設計方針の明確化等、情報共有を図るものとする。

3 照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外であっても、必要に応じて、照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

- 4 当該業務成果による工事発注の際に、別途工事の受発注者が当該工事に対する「工事の施工効率向上対策」（農林水産省 WEB サイト）による工事円滑化会議及び設計変更確認会議を開催することとしており、同会議に出席要請があった場合には応じるものとする。なお、出席に必要な経費については、別途契約により対応することとする。
- 5 業務確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

第 3－4 条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。

黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の 1 から 4 によりこれを実施するものとする。

1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト (CRYPTREC 暗号リスト)」 (URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」) に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2 機器等の導入

（1）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

（2）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

（1）受注者は、1 の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

（2）本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記（1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

（3）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4 写真の納品

受注者は、3 に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5 費用

機器等の購入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第 4 章 打合せ

共通仕様書第 1-10 条による打合せについては、主として下記の段階で行うものとする。

なお、打合せ場所は第 6-4 条に示す場所で行う。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手段階

第 2 回 中間打合せ(設計計画・基本事項段階)

第 3 回 中間打合せ(構造検討・設計計算(施工計画を除く)段階)

第 4 回 中間打合せ(施工計画・設計計算(施工計画)、設計図段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。その際、管理技術者は、共通仕様書第 1-11 条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第 5 章 成果物

第 5-1 条 (成果物)

成果物を共通仕様書第 1 章第 1-17 条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体(CD-R 若しくは DVD-R) 正副 2 部
- 2 成果物の出力 1 部(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

第 5-2 条 (報告書要約版の作成)

報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については、別途、監督職員の指示によるものとする。

第 5-3 条 (開示用成果物の作成及び提出)

第 5-1 条に記載している成果物(PDF ファイル)に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

- 1 開示用成果物の電子媒体(CD-R 若しくは DVD-R) 1 部

第 5-4 条 (成果物の提出先)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県宇城市松橋町松橋 357-1
九州農政局宇城農地整備事業所

第 6 章 契約変更

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- 1 第 2-2 条に示す「設計基本条件」に変更が生じた場合
- 2 第 3-1 条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- 3 第 4-1 条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- 4 第 5-1 条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- 5 履行期間の変更が生じた場合
- 6 関係者協議等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合
- 7 その他

第 7 章 定めなき事項

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 1 — 1 【設計作業項目内訳表】 <<水門設備 実施設計（土木構造物）>>

作業項目	作業内容	作業 実施欄
1. 設計計画		
1-1. 基本条件の検討	過年度業務成果に基づく水理構造条件を決定する。	○
1-2. 規模構造の検討	規模、構造を決定する。	○
2. 構造検討		
2-1. 構造計算	各断面についての詳細構造計算を行う。	○
2-2. 構造図作成	構造一般図、構造詳細図、配筋図、鉄筋加工図等の図面を作成する。	○
3. 土工図作成	施工法区分（単価区分）毎の土工数量、法面保護工長等を記入した詳細図を作成する。	○
4. 数量計算	土工、コンクリート、鉄筋、型枠、附帯施設等の詳細数量計算をする。	○
5. 施工計画	施工方法と工程計画の詳細について作成する。	○
6. 概算工事費積算	各工種の単価を作成し、概算工事費を算定する。	○
7. 総合検討	上記の各作業について総合的に検討する。	○
8. 点検とりまとめ	構造計算、数量計算、図面の点検取りまとめ及び報告書の作成を行う。	○

別紙 1－2 【設計作業項目内訳表】<<水門設備 実施設計（施設機械）>>

作業項目	作業内容	作業 実施欄
1. 現地調査	既設設備の状況 周辺環境の状況 工事用資材置場及び機器搬入可否の状況	○
2. 設計計画	準備作業（資料収集等） 作業計画	○
3. 基本事項	ゲート形式の検討決定 水密方式の検討決定 巻上方式の検討決定	○
4. 詳細事項	操作制御方式の検討決定 付属設備の仕様・配置の検討	○
5. 設計計算	設計計算書 材質・部材の検討決定 装置・諸元の検討決定 機器配置の検討決定 施工計画・工事工程計画の作成 特別仕様書（案）の作成	○
6. 設計図	一般構造図（全体配置図） 操作制御設備配置配線図 操作制御設備単線結線図 仮設図	○
7. 材料計算	主要部材数量表（内訳表・集計表） 機器数量表（規格・容量）	○
8. 照 査	照 査	○
9. 概算工事費	概算工事費の算出	○

※「点検取りまとめ」に相当する作業は、各作業項目に含まれている。

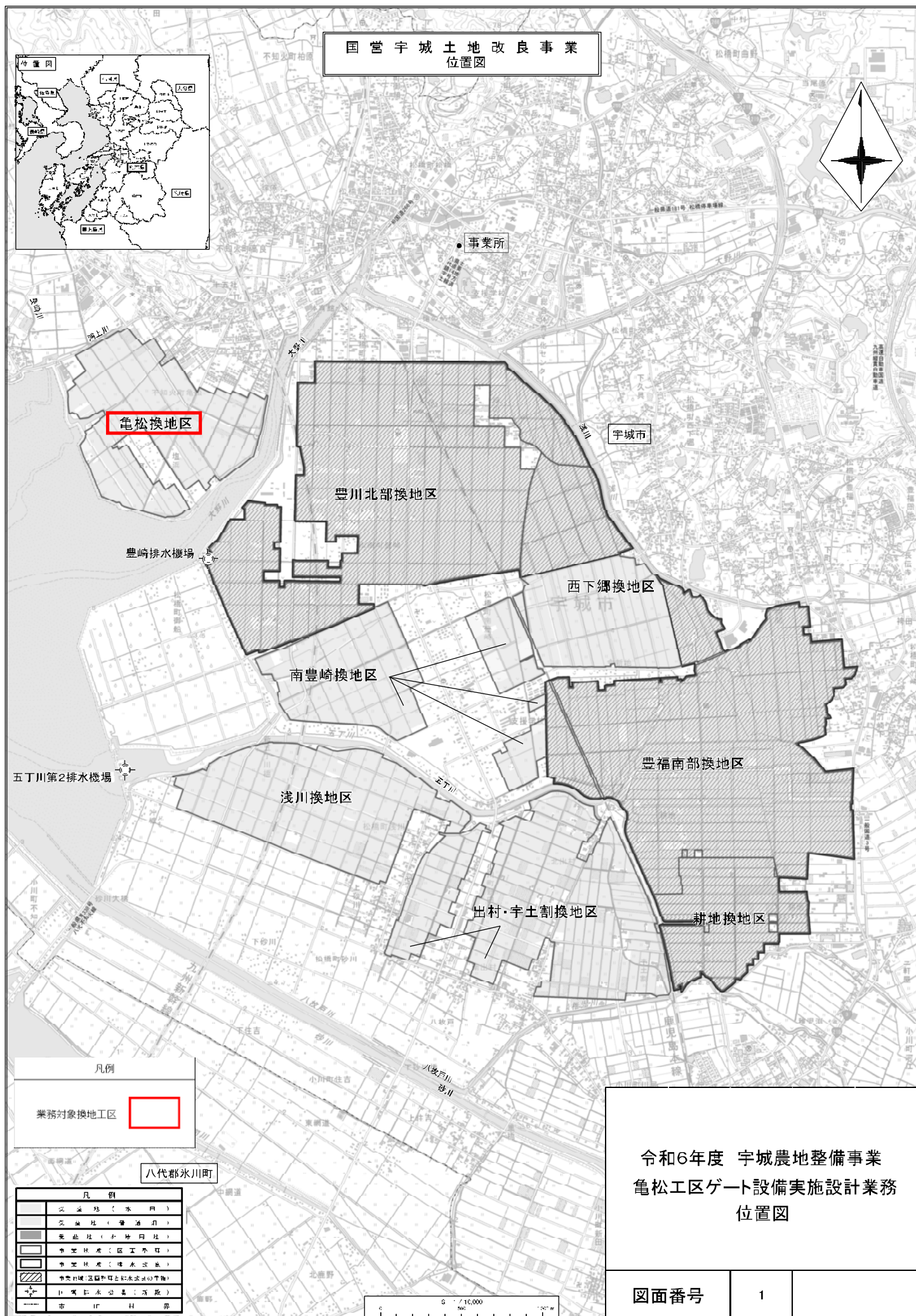
※3. 基本事項のうち、ゲート形式の検討決定及び巻上方式の検討決定については、令和4年度宇城農地整備事業 亀松工区区画整理実施設計（その1）業務の中で比較検討、概定した内容を踏まえ、検討決定する作業である。

令和6年度 宇城農地整備事業

亀松工区ゲート設備実施設計業務

図 面 目 録

番号	名称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	参考図	1	
合計		2	



制水ゲート位置図

S=1:2500

(設計対象：1号制水ゲート)
想定規格：W=2.5m、H=1.0m

1号制水ゲート

(設計対象：2号制水ゲート)
想定規格：W=1.0m、H=1.0m

2号制水ゲート

(設計対象：4号制水ゲート)
想定規格：W=4.0m、H=1.0m

4号制水ゲート

9号制水ゲート
(設計対象外)

8号制水ゲート
(設計対象外)

7号制水ゲート
(設計対象外)

6号制水ゲート
(設計対象外)

5号制水ゲート
(設計対象外)

(設計対象外)
10号制水ゲート

制水ゲート一覧表

名称	水路幅 (mm)
1号制水ゲート	2500
2号制水ゲート	1000
3号制水ゲート	2000
4号制水ゲート	4000
5号制水ゲート	2500
6号制水ゲート	3500
7号制水ゲート	3000
8号制水ゲート	3500
9号制水ゲート	3000
10号制水ゲート	1500

名称	X	Y	H
電松NO.1	-39333.921	-32218.573	2.573
電松NO.2	-39339.041	-32222.013	3.882
電松NO.3	-39468.834	-31844.359	0.606
電松NO.4	-39832.738	-32425.924	0.439
電松NO.5	-39959.411	-31378.464	7.524
電松NO.6	-40041.604	-32950.328	0.646
電松NO.7	-40344.984	-31848.071	0.449
電松NO.8	-40455.940	-32156.680	0.662

凡例	計画内容
	支幹道路3m道路 (改修、新設 5m)
	耕作道路 (改修、新設 3m)
	既設道路 (浸透利用)
	計画排水路 (改修、新設)
	既設排水路 (浸透利用)
	ビニールハウス
	一筆排水
	排水機
	排水機設置場所
	排水設備 (表土扱い無)
	排水設備 (表土扱い有)

令和6年度 宇城農地整備事業
電松工区ゲート設備実施設計業務
参考図